

発行元:CTC教育サービス

## 目次

- キャンペーン Rubyコース受講で資格試験対策本をプレゼント！
- 注目コース VMware Viewで実現！最適なVDI環境！「VMware View5.0」
- トピック Inst. Tech View ～第21回 移動ユーザープロファイル(後編)～
- コラム スーパーエンジニアの独り言 第19回“銀河鉄道の夜”

## キ | ャ | ン | ペ | ー | ン |

◆◇ Rubyコース受講で資格試験対策本をプレゼント！ ◇◆

この度CTC教育サービスでは、期末特別キャンペーンといたしまして、下記コースを受講のお客様を対象に、もれなく下記の試験対策本をプレゼント！

クラウド時代に特に有効と言われているRubyを学ぶチャンスです。  
この機会をお見逃し無く！

## &lt;キャンペーン期間&gt;

2013年2月～3月末までの対象コース

## &lt;対象コース&gt;

- R002: Ruby入門  
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=969&m=16223&v=c759ec4d>  
対象日程:2/12-13、3/18-19  
価格:¥84,000(税込)
- R015:実践 Ruby on Rails 運用 ～開発からデプロイまで～  
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=970&m=16223&v=a9c44963>  
対象日程:2/6-8  
価格:¥157,500(税込)
- R018:Ruby on Rails Webアプリケーション開発入門  
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=971&m=16223&v=0c4fd96d>  
対象日程:2/25-27、3/25-27  
価格:¥157,500(税込)

## &lt;特典&gt;

上記コース受講の方には、もれなく下記市販本をプレゼントいたします！

「Ruby公式資格教科書 Ruby技術者認定試験Silver/Gold対応」

<http://gihyo.jp/book/2012/978-4-7741-5001-7>  
ISBN 978-4-7741-5001-7

上記対象コース以外にもRubyを学習できるコースをご用意しております。

Ruby関連コース

<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=972&m=16223&v=39a26f3e>

皆様のご受講を心よりお待ちしております。

## 注 | 目 | コ | ー | ス |

◆◇ VMware Viewで実現！最適なVDI環境！「VMware View5.0」 ◇◆

昨今、自社の社内環境をVDIで構成する企業が非常に増えています。  
VDIは、Virtual Desktop Infrastructureの略語です。  
サーバ仮想化技術を使用して作成した仮想マシンを、ユーザーにリモートアクセスさせて、仮想デスクトップとして利用する仕組みを指します。

このようなVDI環境を構成することで様々なメリットを享受することができます。例えば、ユーザーが各拠点で使用するクライアントマシンは通信するだけが目的なので、ハイスペックなマシンを用意する必要がありません。また、ユーザーが実際に使用するマシンはデータセンター側で仮想マシンとして集約されているため、必要なパッチの導入やアプリ、OSのアップグレード作業などをまとめて全ユーザーのマシンに適用することも可能になります。

VDI環境を構成するためには、サーバ仮想化技術で仮想マシンを作成するだけでは不十分です。多数の仮想デスクトップを効率よく管理する必要性だけでなく、ユーザーの通信(セッション)管理の必要性もできます。そういったVDI環境を構成するための製品としてVMware社で提供しているものがVMware View5.0です。VMware View5.0では独自のユーザープロファイル管理機能 (View Persona Management)が提供されており、最適なユーザープロファイル機能を選択することが可能になっています。

CTC教育サービスでは、VMware View5.0の概要および諸機能を幅広くご紹介するVMware View: Install, Configure, Manage [V5.0]コースを提供しております。このコースはVMware社の認定コースですが、多数の弊社オリジナル演習項目もご用意しております。

これからVMware View5.0を使用して構築、運用、保守を行う技術者の方などにお勧めのコースですので、是非ご検討ください。

#### VM32

VMware View: Install, Configure, Manage [V5.0]

期間: 4日間

価格: ¥281,400(税込)

詳細: <http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=973&m=16223&v=9c29ff30>

開催日程: 2/12-15

## トピックス

### ◆◇『Inst. Tech View ～第21回 移動ユーザープロファイル(後編)～』◆◇

今回のInst. Tech Viewは、前回に引き続きデスクトップ仮想化と関わりが深い「移動ユーザープロファイル」というWindowsの機能について説明します。

前は移動ユーザープロファイルの概要と、Citrix XenApp、XenDesktop等の仮想デスクトップ環境に必要となることが多い機能であることを説明しました。今回は、移動ユーザープロファイル環境でありがちなトラブル事例などについて少しご紹介いたします。

移動ユーザープロファイル環境ならではの問題としては、例えば、ネットワークの問題などで、ログオン時にユーザープロファイルのダウンロードに失敗することがあります。その場合、ユーザーがログオンしデスクトップが表示された際、以下のような現象に遭遇している可能性があります

- ・ログオンした際にデスクトップに置いたはずファイルが無い、あるいはファイルはあるがアイコンの位置がおかしい  
(前回ログオン時と違う場所にアイコンが配置されている)
- ・ブラウザのお気に入りや追加した情報が無くなっている
- ・一部アプリケーションの設定情報が初期化されている

一時的なネットワーク等の問題が原因であれば、一旦ログオフを行った後、再度ログオンすることによりユーザープロファイルのダウンロードに成功し、上記の現象はひとまず解決する可能性があります。根本原因の追究と解決が必要な場合は、ログオン/ログオフ時ネットワークパケットキャプチャーやユーザー環境デバッグログ、イベントログ等を取得し、詳細調査が必要となることがあります。

(参考) 製品版 Windows でユーザー環境デバッグ ログを有効にする方法  
<http://support.microsoft.com/kb/221833/ja>

また、「ログオン、ログオフが遅い」という問題が発生することがあります。ログオンするたびにプロファイルをサーバーからダウンロードし、ログオフ時にアップロードするためユーザープロファイルが肥大化するほど、ログオン、ログオフが遅くなります。これを避けるためには、工夫が必要となります。例えば「フォルダーリダイレクト」という方法がその1つです。これはActiveDirectoryのグループポリシーの機能の1つとなりますが、設定を行うことで、デスクトップやマイドキュメントなど、サイズが大きくなりがちなフォルダーをダウンロード/アップロードする必要がなくなります。

イメージとしては、ユーザープロファイル内の各フォルダーがショートカットのようなものになり、実際のファイルはファイルサーバー上の共有フォルダー（移動ユーザープロファイルを格納する共有フォルダーとは別のもの）に置かれたままとなります。例えば、ユーザーが「マイドキュメント」フォルダーにアクセスすると、ファイルサーバー上の共有フォルダーにリダイレクトされるという仕組みです。Windows2008以降のActiveDirectoryグループポリシーでは、Windows2003より多くの種類の（ユーザープロファイル内にある）フォルダーをリダイレクトできるようになっています。

「フォルダー リダイレクト」の詳細は、以下のWebサイト等をご参照ください。

(参考) フォルダー リダイレクトの概要

[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc732275\(WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc732275(WS.10).aspx)

移動ユーザープロファイルはWindowsの機能ですが、XenDesktopあるいはXenAppを使用する場合、Citrix社が提供する高度なプロファイル機能「Profile Management」を移動ユーザープロファイルの代わりに使用することもできます。

「Profile Management」の詳細につきましては、以下のWebサイト等をご参照ください。

(参考) プロファイル管理(Profile Management)

<http://support.citrix.com/proddocs/topic/technologies/nl/ja/upm-wrapper-all-versions.html?locale=ja>

■ □ コースの詳細情報はこちら ■ □

P699: Active Directoryドメインサービス ファーストステップ (CTCオリジナル)

<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=974&m=16223&v=52790398>

価格: ¥73,500 (税込)

X007: Citrix XenDesktop 5 Administration (Citrix認定コース)

<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=975&m=16223&v=f7f29396>

Citrix Profile Managementについても実機演習を含めてご紹介。

価格: ¥363,615 (税込)

X008: Citrix XenApp 6.5 Administration (Citrix認定コース)

<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=976&m=16223&v=c21f25c5>

移動ユーザープロファイルおよびCitrix Profile Managementの概要をご紹介。

価格: ¥353,220 (税込)

是非、受講をご検討ください。

コ | ラ | ム |

◆◇ 『スーパーエンジニアの独り言 第19回“銀河鉄道の夜”』 ◇◆

ジョバンニが親友カムパネルラを見送るため天の川を列車と一緒に旅する話、宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」では宝石や鉱物、貴金属の類が登場します。金剛石(ダイヤモンド)、黒曜石(スノーフレークオブシディアン)、黄玉(トパーズ)、月長石(ムーンストーン)、青宝玉石(サファイア)、水晶(クォーツ)、硝子(ガラス)、真珠(パール)、紅玉(ルビー)、黄金(きん)、金、銀、銅、鉄、鋼、硫黄、水銀、真鍮、リチウム、それに、石炭とアセチレンも。

元素記号の化学式を羅列するが如く、漆黒の夜の情景に煌びやかな花を咲かせ銀河の星ぼしに色味を与えています。まるで色彩博覧会のような。今宵は、「紅玉(ルビー)」と「鉄道」に縁のある話をしたいと思います。

Rails 4のリリースが間近に迫ってきた様子です。

Railsの歴史を紐解くと2004年07月に最初に公開された後、Rails 1が2005年12月、Rails 2が2007年12月とリリースされました。2010年8月にリリースされたRails 3は、言葉通りのメジャーバージョンアップでした。Rails 2からRails 3への変更点では、Merbという名前の外部フレームワークを吸収しRailsの根幹の実装から変更するという大きな変化(痛み)を伴いました。Railtieを最小コアに据えて必要な機能をモジュールとして組み込む、モジュール指向(Modularity)を実践したパラダイムで実装されました。その結果、多様なアプリケーションを実装できることが可能になりました。単線だった路線が色々な方向へと向きを変えレールを延ばせるようになったとも比喻できるのでしょうか。

昨年(2012年)夏頃から噂され始めたRails 4は、既にベータ版も公開されていることもあり、近々登場すると期待されています。Rails 4では、前回のような大きな変化は伴わないと噂されていて、Rails 4は最初から安定版として登場すると憶測されます。これは実際に現在に至るまでにRails 3にて順次、機能追加や仕様変更がマイナーバージョンアップにて行われ続けており、次はその集大成としてのリリースであるというのが大半の見方です。既にRailsのバージョン番号は飾りとなっていて、Rails自体が絶え間なく変化しているのだという方もいらっしゃると思います。

しかしながら、メジャー番号が3から4へと一つ増えるのですから傍目から見て視認できる区切りであることに相違ありません。果たして、Rails 4での変更点は実際どのようなものになるのでしょうか。

リリースノートの冒頭に出ている目玉は、Ruby 1.8のサポート終了が謳われており、Rails 4ではRuby 1.9以降を母体とするようです。まさにこれが一つの大変な変更点であり区切りといえるでしょう。これ以外にもいくつかのAPIなどの機能が廃止予定になっています。

新機能も追加される様子です。目玉の一つが、Strong Parametersです。これはHTTPリクエストから受け取るパラメータをコントローラで処理(フィルター)出来るという機能です。外部から受け取ったパラメータをそのままモデルに渡すのではなく、コントローラ側でチェック出来るようになります。MVCにて本来の役割であるコントローラ側で行うことは、スマートであり、また道理でもあるでしょう。パラメータのハッシュ値であるparamsに対しrequire(key)メソッドで指定のパラメータを含んでいるのかを先ずチェックし、permit(\*filters)メソッドでパラメータ内の指定したキーのみを有効にします。

```
| params.require(:person).permit(:name, :age)
```

この機能で、不要なパラメータを取り除いてしまうことが出来るのです。Mass Assignmentで起こり得る脆弱性に対しての有効な防止策ともなります。(Mass Assignmentは、フォームデータをオブジェクトにマップするための安全かつ効果的な機能のこと。)  
詳細は、ActionController::Parametersのマニュアルをご参照ください。

他にも、Russian Doll Caching(ロシア人形キャッシュ)やTurbolinks(ターボリンク)という冴えたネーミングの機能が挙げられています。

細かい所ではindex.htmlが無くなり、代わりにトップページを表示するWelcomeコントローラが標準で提供されるというちょっとした驚きや、非推奨となっていたupdate\_attributeメソッドを廃止するなど(update\_columnメソッドに変更)既になされた変更を含めてRails 4リリース後にいくつか確認する必要があるようです。

ところでRubyは2013/02/24で二十周年を迎えます。この誕生日に合わせてメジャーバージョンアップ(Ruby 2)の発表があるのでは?と目されています。今回は今回に引き続き、Rubyのバージョンについてお話し上げることになるかもしれません。

黒い天蚕絨(びろうど)を広げたように漆黒の闇夜の中、天上の石炭袋の中に吸い込まれてしまいそうな孤独に苛まれる夜に、寂しさに堪えられず逃げ出した先の小高い丘で、何処からか「銀河ステーション、銀河ステーション」と、不思議な声が聴こえてくるかもしれません。耳を澄ませて暫しお待ちください。

では次回もご期待ください。

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆CTC教育サービス◆窓口まで  
シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部  
E-Mail: kyouiku@ctc-g.co.jp / TEL: 03-5712-8701

---

●外部委託について

弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社(CTC100%出資子会社)に委託しております。

●本メールマガジン編集・配信責任者

CTCT エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一  
所在地: 東京都世田谷区駒沢1-16-7 ctc\_edu\_mail@ctc-g.co.jp

●個人情報保護方針

CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。

[http://www.ctc-g.co.jp/guide/security\\_policy.html?top=b\\_security](http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security)

●配信中止及びお問合せ対応について

・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が不要な場合には、  
下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。

<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>

・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。  
大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信に  
ついての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々  
の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。

・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時  
ctc\_edu\_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。

---